

2022年3月4日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
三菱UFJニコス株式会社
アコム株式会社

新型コロナウイルス感染長期化に伴う支援（総額約14億円）について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）は、新型コロナウイルスのオミクロン株が猛威を振るう中、社会・経済に広域かつ甚大な影響が今なお生じていることを受け、昨年度に続き、教育および医療の分野において、グループ5社^[1]から以下のとおり支援することを決定いたしました。

1. 教育分野での総額10億円の寄付

新型コロナウイルスの感染拡大長期化に伴い、経済的な理由から学業の継続や進学を諦めざるを得ない意欲ある学生を奨学金や一時金で支援するために、一般財団法人あしなが育英会および公益財団法人日本国際教育支援協会へ総額10億円を寄付します。

2. 医療分野での約4億円の寄付

オミクロン株の感染拡大に伴い、医療ひっ迫が懸念される中、その最前線で診察・治療にあたる病院関係者を支援するため、公益社団法人全日本病院協会へ約4億円の寄付を実施いたしました。同協会を通じて、支援を希望する病院を募り、地域の安定的な医療提供体制の維持・強化に貢献してまいります。

MUFGは、「世界が進むチカラになる。」を自社のパーパスとして掲げています。その実現に向け、今後も、お客さまや地域・社会、次の世代の人々が安心して暮らせるよう、様々な取り組みを行ってまいります。

[1] 株式会社三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱UFJ証券ホールディングス株式会社、三菱UFJニコス株式会社、アコム株式会社

以上